

本川社協だより

発行 本川地区社会福祉協議会
 責任者 中田 道夫
 編集 広報委員会
 印刷 ㈱インパルスコーポレーション
 発行日 令和5年8月

本川地区の皆様におかれましては、日頃から本川地区社会福祉協議会の活動にご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この5月に、新型コロナウイルス感染症が季節性インフルエンザと同じ5類に移行したことにより、これまで中止や縮小を余儀なくされていた事業が、少しずつではありますが、以前のように開催できるようになりました。

安全で住みよいまちとなるよう、一生懸命取り組んでまいりたいと考えておりますので、皆さんのお力添え、どうぞ、よろしく願いいたします。

本川地区社会福祉協議会 会長 中田 道夫

本川地区社会福祉協議会について

本川地区社会福祉協議会は、地区内の町内会や各種団体の会長などで構成されています。役員会（毎月）や理事会（2か月ごと）を開催しながら、本川地区の社会福祉の向上のため、様々な事業を行っています。

令和5年5月29日（月）、本川広瀬集会所で「令和5年度本川地区社会福祉協議会総会」を開催しました。総会では本川地区社会福祉協議会の令和4年度決算、令和5年度予算、令和5年度事業計画が承認されましたのでご報告します。

令和5年度事業計画(主な事業)

本川地区原爆死没者慰霊祭・盆踊り大会 (8月5日(土))

本川小学校平和資料館前の「原爆慰霊碑」前で、原爆でお亡くなりになられた方の慰霊と恒久平和を祈念して慰霊祭を実施します。引き続き、小学校グラウンドで盆踊り大会を行います。

やすらぎかい (10月7日(土))

70歳以上のおひとり暮らしの方をお招きします。

自主防災訓練 (12月10日(日))

防災意識の向上を図るため、生活避難場所となる本川小学校で訓練を実施します。併せて、PTAの皆さんによる三世代交流餅つきも行われます。

あいさつ運動

毎月第2月曜日、青少協や各町内会の方々が、通学路や横断歩道に立ち、子ども達の登校を見守りながら、あいさつ運動を行っています。

また、本川小学校PTAでも、週2回保護者による見守りあいさつ運動を行っています。

オープンスペースぽっぽ

0歳から未就学児までの子育て交流広場です。本川児童館で毎月第3水曜日に開催しています。

その他

「交通安全教室」(9月2日(土))、三世代交流「本川フレンドシップフェスティバル」などの事業も計画しています。

また、「新たな協力体制」(LMO)の構築に取り組みます。



予算・決算

【収入】

(単位：円)

科 目	令和 4 年度決算	令和 5 年度予算	備 考
会 費 収 入	582,000	579,000	町内会からの会費（一世帯 300 円）
補 助 金 収 入	815,780	880,000	福祉のまちづくり、原爆慰霊祭などへの補助金
事 業 収 入	123,700	125,000	防災訓練などへの助成金
諸 収 入	12	200,000	受取利息など
繰 越 金	1,002,850	481,162	
合 計	2,524,342	2,265,162	

【支出】

科 目	令和 4 年度決算	令和 5 年度予算	備 考
助 成 金 支 出	365,000	315,000	体協、老人クラブ、消防団、子ども会、女性会、交通安全運動推進隊、青少協 など
事 業 費	110,180	253,000	交通安全教室、広報誌、仲間体操 など
分 担 金 支 出	132,000	140,000	防犯組合連合会などへの分担金
行事負担金支出	558,908	820,000	原爆慰霊祭などへの負担金
諸 費 そ の 他	877,092	400,000	総会会議費、本川小学校創立 150 年記念(R4) など
繰 越 金	481,162	337,162	
合 計	2,524,342	2,265,162	

※ 令和 4 年度は、コロナ禍のため、「本川フレンドシップフェスティバル」、「やすらぎ会」などの行事は中止となりました。

役員紹介

令和 5 年度は次の役員で本川地区社会福祉協議会の運営を行ってまいりますので、よろしくお願ひします。

役 職	名 前	備 考
会 長	中田 道夫	元広瀬本川地区保護司会会長、本川地区自主防災運営本部長
副会長兼幹事	田中 八重子	本川地区女性連合会会長、本川おもてなし隊会長
副会長・Aブロック長	井上 宗博	本川学区体育協会会長、十日市町二丁目三区町内会会長
副会長・Bブロック長	永谷 尚美	土橋町町内会会長
副会長・Cブロック長	上本 輝昭	本川地区防犯組合連合会会長、榎町一区町内会会長、安全推進委員
副幹事（福祉担当）	川原 一太	福祉推進委員、十日市町二丁目二区町内会会長
副幹事（福祉担当）	高木 葉子	福祉推進委員
副幹事（広報担当）	本田 雅敏	榎町二区町内会会長
会計	國本 武基	十日市町一丁目町内会会長
監査	吉本 征司	本川学区体育協会顧問
監査	松尾 幸司	榎町三区町内会会長
相談役		国泰寺中学校校長、本川小学校校長、十日市交番所所長、中消防署基町出張所所長、竹屋公民館館長、本川児童館館長、本川保育園園長、広島記念病院事務部長
理事		本川地区の全町内会長 消防団広瀬本川分団、民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会、青少年健全育成連絡協議会、子ども会育成協議会、小・中学校PTA、交通安全運動推進隊、公衆衛生推進協議会 など各種団体の代表者

本川地区老人クラブ連合会 緑綬褒章受章



令和4年11月、本川地区老人クラブ連合会（榎町三つ葉会、堺町2丁目健老会、猫屋町和楽会、本川寿会）の皆さんが緑綬褒章を受章されました。皆さんは、空鞆公園、本川公園、榎町公園、天満川護岸緑地などを46年前から月に1回清掃するなど本川地区の美化活動に取り組んでこられました。今回の受章は、永年にわたる功績が認められたものです。本当におめでとうございます。

本川小学校創立150周年



令和5年1月13日（金）、「本川小学校創立150周年記念式典」が松井広島市長はじめ多くの来賓の方々が出席し開催されました。本川小学校は、明治6年（1873年）に創立した歴史と伝統のある学校です。式典では、4年生による本川音頭、松井広島市長からの絵の寄贈、岸田内閣総理大臣からのビデオレターなどが披露されました。



広島市長から寄贈された絵

本川社協も、教職員や保護者の皆さん一体となり、今後も引き続き、本川小学校を中心にして、子どもたちに、平和の大切さや人々のつながりの温かさなどを伝えていくことができるよう、努めていきたいと考えております。

本川地区女性連合会75周年

本川地区女性連合会が75周年を迎えたことから、令和5年6月3日（土）、松井広島市長をはじめ、多くの皆様を来賓に迎え、75周年記念「女性の集い」が開催されました。

女性連合会の皆様は、永年にわたり、爆心地に近い地域として平和活動に注力するとともに、環境・美化活動など様々なことに取り組んでこられました。引き続き、地域のため活動していただきますよう、よろしく申し上げます。



つくろう本川のわ サロン会開催

本川地区では、地域でお互いに声をかけ合い、見守り支え合うことをめざし、本川地区社会福祉協議会や町内会・民生委員などと広島市国泰寺地域包括支援センターが連携して「つくろう 本川のわ」という取組を行っています。

広島市国泰寺
地域包括支援センター
☎082-249-0600
月～金 8:30～17:15
(年末年始・土・日・祝を除く)



町内会や各ブロック等で、見守る人と見守られる人が交流する「サロン会」を始めてみました。6月24日（土）には、Cブロックで「つくろう本川のわ」に登録されていらっしゃる方のサロン会が開催され、約20名の方が参加されました。参加者からは、「久しぶりに、いろいろな人と話ができてよかった。」という声が聞かれました。

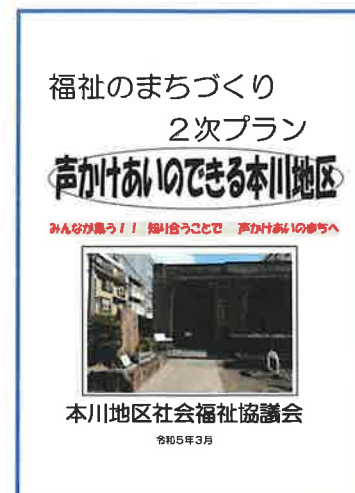
お一人暮らしやお体のご不自由な高齢者の方は、一度、地域包括支援センターに相談してみませんか。

福祉のまちづくり 2 次プラン

平成 23 年に本川地区の「福祉のまちづくりプラン」を作成し、10 年余りが経過したため、令和 5 年 3 月、2 次プランとして改訂いたしました。

10 年の間で、地域の様子も大きく変化しております。今後の 5 年を見据え、本川地区で安心して暮らすことができるためには、どのようにすればよいか、社協役員をはじめ、各団体の皆様と一緒に一生懸命考え、作成したものです。

本川社協は、このプランに基づき、「声かけあいのできる本川地区」を目指して、取り組んでまいります。



1 構想計画

声かけあいのできる本川地区

みんなが集う！知り合うことで 声かけあいのまちへ



2 基本計画及び実施計画

基本計画	実施計画	主な事業実施項目
安心・安全な地域づくり	見守りによる安心づくり	高齢者地域ささえあい、子どもの通学見守り活動 など
	健康と交流の場づくり・居場所づくり	いきいき100歳体操、ふれあいいきいきサ、ロン、子育てオープンスペース など
	地域中の助け合いの仕組みづくり	地区ボランティアバンク活動推進事業 など
	防犯・防災活動	防犯パトロール、防災訓練 など
地域住民のコミュニケーションづくり	地域交流の推進と発展	学区、町内会等で取り組む活動（盆踊り、本川フレンドシップ、本川音頭の保存、亥の子まつり、とんど、ラジオ体操 など）
	地域情報の発信	本川社協だより、子ども会広報紙
本川らしい地域活動づくり	地域社会の変化に対応した活動づくり	平和学習（原爆死没者慰霊祭、本川おもてなし隊 など）
福祉活動の充実のために	地域の福祉活動の基盤づくり	地区社協活動拠点設置、財源強化・人材確保 など